

第134回経営協議会議事概要

日時 令和6年2月15日（木）13時30分～14時56分
場所 本部棟大会議室
出席者 和田隆志（議長），大竹茂樹，中村慎一，塩川達大，三浦要，松本宏一，堀修，蒲田敏文，有松育子，河田悌一，後藤ひとみ
（以下，Webによる出席者）
原田明久，里見進，山内雅喜
欠席者 大橋徹二，新保博之，徳田博，渡辺芳人
ワグザバー 浅野哲夫，村本健一郎
陪席者 森本章治，山岸雅子，中沢正隆（Web），黒本和憲

1 前回議事確認

第133回経営協議会 12月15日（金）開催

2 令和6年能登半島地震における金沢大学の対応状況及び「能登里山里海未来創造センターの設置」

議長から，資料1に基づき，令和6年能登半島地震における本学の対応及び能登里山里海未来創造センターの設置について説明があった。続いて，研究・社会共創・大学院支援担当理事から，新たに策定したガイドラインを学外に共有する必要性について説明があった。最後に，議長から，本学の対応について，公共の財産となるような情報をわかりやすく発信していく旨説明があった。

[委員からの主な意見]

- 今後，能登里山里海未来創造センターで，地域が以前から抱えていた問題，今回の地震で新たに判明した問題を解決し，それを全国に発信してほしい。
- 今回の経験や取組の成果及び得られた知見について，今後まとめて公表してほしい。
- これからの復興の局面に向けて，いくつかの異なる予算規模の計画の準備をしていくとよい。
- 本人や親族が被災した教職員への手当を行ってほしい。
- 被害状況を含めた大学の活動，地域での社会貢献活動について，広報を積極的に行っていないといけない。報道機関や広告業界の卒業生に情報発信の協力を呼びかけてはどうか。
- 危機管理を専門とする教員を雇用するとよい。

3 協議

(1) 令和5年人事院勧告に対する本学の対応

総務・財務・施設担当理事から，資料2に基づき，令和5年人事院勧告に対する本学の対応について説明があり，審議の結果，承認された。

- (2) 令和5年度金沢大学補正予算(第2号)
総務・財務・施設担当理事から、資料3に基づき、令和5年度金沢大学補正予算(第2号)編成について説明があり、審議の結果、承認された。
- (3) 令和6年度金沢大学予算編成方針
総務・財務・施設担当理事から、資料4に基づき、令和6年度金沢大学予算編成方針について説明があり、審議の結果、承認された。

4 報告

- (1) 令和6年度文部科学省予算案
総務・財務・施設担当理事から、資料5-1~5-3に基づき、令和6年度文部科学省予算案について報告があった。
- (2) 令和5年度「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」の採択
議長から、資料6に基づき、令和5年度「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」の採択について報告があった。
- (3) 大学発新産業創出基金事業「スタートアップ・エコシステム共創プログラム 地域プラットフォーム共創支援」の採択
産学連携・研究(総括)担当副学長から、資料7に基づき、「スタートアップ・エコシステム共創プログラム 地域プラットフォーム共創支援」の採択について報告があった。
- (4) 金沢大学被災学生・施設支援等基金の設置
総括・大学改革・附属病院担当理事から、資料8に基づき、金沢大学被災学生・施設支援等基金の設置について報告があった。

[委員からの主な意見]

- クラウドファンディングの活用など、様々なステークホルダー等に周知できるよう、寄附を募っていくのがよい。
- 義援金ではなく、支援金という制度はとともよい。寄附に関する情報を集約し、Webサイトでわかりやすく発信してはどうか。

5 その他

- (1) 令和5年度における経営協議会学外委員からの意見への取組状況【資料掲載のみ】

<次回開催予定>

第135回経営協議会 日時：令和6年3月14日(木)15時30分から